

令和4年度第12回公立大学法人滋賀県立大学役員会議事録

日時・場所：令和5年3月22日（水）15:00～17:00 評議会室

出席者：廣川理事長、宮川副理事長、山根理事、安原理事、高橋理事、林理事、上原理事、
山本監事、元永監事

事務局：八里事務局次長、山田総務課長、高木財務課長、寺村経営企画課長、
川分学生・就職支援課長、郡田教務課長、山中地域連携・研究支援課長、
出口高等専門学校開設準備室室長、前田課長補佐、藤居主幹

令和4年度第11回公立大学法人滋賀県立大学役員会議事録（案）は、原案のとおり承認された。

議 題

（審議事項）

1 令和5年度計画（案）について

寺村経営企画課長から資料に基づき説明があり、原案のとおり承認された。

2 令和4年度補正予算（案）および繰越予算（案）について

高木財務課長から資料に基づき説明があり、原案のとおり承認された。

〔主な意見・質疑等〕

- ・電気代高騰に対してどのような対策をしているか。
⇒空調設備を全体空調から個別空調に切り替えて長寿命化を図り、節電に努めている。また、調達先についても、最も有利と考えられる方法により、業者選定をしている。
- ・ゼロカーボンに向けた自然エネルギーの活用等の方針や経緯を教えていただきたい。
⇒CO2削減のための主な取組としては、個別空調の導入、照明のLED化、太陽光発電に取り組んでいる。詳しくは次回の役員会で報告する。

3 令和5年度予算について

高木財務課長から資料に基づき説明があり、原案のとおり承認された。

〔主な意見・質疑等〕

- ・県大ブランド力の強化のための企画広報の一環として「県大の星」と「県大 jiman」が発行されているが、違いがわかりにくいので、より効果的な広報になるように見直してはどうか。
⇒ご意見を踏まえて、来年度、広報戦略を見直していく。
- ・修学支援制度について、令和5年度予算重点事項で挙げられている授業料減免による奨学費と比べて、令和4年度決算見込額は少なくなっており、整合していないのではないかと。
⇒令和2年度から国の制度が始まってからの移行期であることと、実際にどれだけの学生に支援が必要となるかは予見できない事情があることをご理解いただきたい。

4 職員就業規則等の改正について

山田総務課長から資料に基づき説明があり、原案のとおり承認された。

[主な意見・質疑等]

- ・定年延長は年金と連動しているか。
⇒直接に連動してはいない。
- ・定年前再雇用短時間勤務について、定年前であるのに再雇用するというのがわかりにくい。
⇒定年は徐々に65歳まで引き上げられるが、定年前の60歳で退職し再雇用できる制度を作ったもの。

(報告事項)

- 1 次期役員予定者および研究院長等予定者について
山田総務課長から、資料に基づき報告があった。
- 2 令和4年度第3四半期までの予算執行状況について
高木財務課長から、資料に基づき報告があった。
- 3 令和4年度卒業・修了予定者の進路内定状況等について
川分学生・就職支援課長から、資料に基づき報告があった。
- 4 令和5年度一般選抜試験合格状況等について
郡田教務課長から、資料に基づき報告があった。
- 5 滋賀県立高等専門学校基本構想1.0(案)について
出口高等専門学校開設準備室室長から、資料に基づき報告があった。
- 6 第4期中期目標(骨子案)について
寺村経営企画課長から、資料に基づき報告があった。